

領域・小問ごとの分析	対 策 の 視 点
<p>3. 比の利用</p> <p>正答率は62%である。比例配分の問題であるので、比例式を使って能率よく解いて欲しいが、比例式はあまり使われていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章題を解く場合は、その問題に適した解き方があることを指導したい。</li> </ul>
<p>4. 事柄の起こり得る場合</p> <p>正答率は54%である。誤答を見ると、順列と組合せを混同している児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>順列と組合せの違いを理解させる。ただし、順列とか組合せの用語は、表面に出さない方がよい。</li> </ul>
<p>5. 比例関係の事象</p> <p>色々な関係にあるものの中から、比例関係にあるものを判別する問題であるが、正答率は50%を割っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係を判別する手がかりとなる対応表・式・グラフなどが直ぐ使えるようにする。</li> </ul>
<p>6. 全体の傾向を調べる</p> <p>正答率は36%と低い。問題を解くため、<math>189 \times \frac{16}{42}</math>の立式をするが、<math>\frac{16}{42}</math>を先に計算し、割り切れないでつまづいている。また、題意が正しく読み取れない児童も見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題意が正しく読み取れるようにしたい。</li> <li>標本から母集団を推定する問題であり統計などともかかわって来るので、丁寧に指導することが望ましい。</li> </ul>
<p>7. 比 例</p> <p>(1) 比例関係を式に表す</p> <p>正答率は69%である。誤答を見ると、<math>b \div a = 4</math> の式を <math>b = 4 \times a</math> の式への変形につまづいている。</p> <p>(2) 式の値</p> <p>正答率は55%である。誤答が多様である。前問で求めた式を使った児童が少ない。</p> <p>(3) 比例関係をグラフに表す</p> <p>正答率は64%である。点の座標の取り方につまづきが見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応表から式を作ることや式の変形指導は形式的にならないよう留意する。</li> <li>この問に対して、求め方は幾通りも考えられるが、前問の式を使うことが簡単であることを理解させたい。</li> <li>グラフを書くだけでなく、比例のグラフの特徴をとらえさせるようにしたい。</li> </ul>